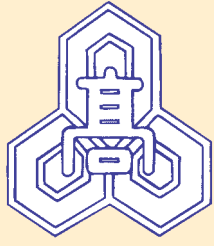


大田高校 P T A 広報



泰山木

Taisanboku

第104号

平成27年12月18日

島根県立大田高等学校
P T A 総務委員会



唯一無二 ～革命を起こせ!! 大高 new world ～



祝 新校舎竣工式

ごあいさつ

PTA会長 幸増 浩一郎

この度の新校舎竣工にあたり、大田高校PTAを代表して心よりお慶び申し上げます。また、念願の校舎新築にご尽力されました学校・地域関係の皆様にご礼申し上げます。三瓶川沿いから見る新校舎の堂々たる姿は、

伝統ある大田高校に相応しく、体育館や岩谷奨学会館と統一感のある落ち着いたファサードは、新しい大田高校の象徴的な風景として今後益々輝きを放つていくことでしょう。

新校舎が旧校舎の立地への建替えであること、そして私自身が高校在学時代に旧校舎の教室で学んだという懐かしさからでしょうか、新校舎は、何となく旧校舎の面影を残していると感じてしまいます。しかし一歩中に入ると、中庭を望む玄関、広い廊下へと続き、校舎の内部は目にも心にも優しい木目をふんだんに用いた仕上がりです。生徒の教室をはじめ、各所に最新かつ無駄のない設備が備わり、素晴らしい学

習環境が整いました。永く慣れ親しんだ旧校舎は半世紀以上にわたり大田高校の生徒の成長を見守って来たわけですが、これからその役割は新校舎が十分果たしてくれそうです。

また、この度の校舎竣工にあたり、大田高校PTAより記念の絵画の額と、生徒用トイレの暖房便座を寄贈いたしましたことを併せて報告させていただきます。ちなみに絵画は大田高校OBの画伯俵正論氏の作品で、ヴェネツィアのサンマルコ広場から運河越しに見える聖堂の風景です。これは生徒たちが外国そして世界を感じられるようにと臼井校長先生が自ら選ばれたそうです。生徒諸君が世界に大きく羽ばたくようにとの願いが込められています。

「健全な精神は健全な肉体に宿る」これまで脈々と受け継がれた大高精神が、新しいこの校舎にも宿り、ここで学ぶ大田高校の生徒たちが健やかにたくましく育つことを期待しています。



吹奏楽部演奏



藤原教育長 定礎の辞



感謝状贈呈



校舎案内

竣工式式辞

校長 白井 泉

新校舎四階から眺める三瓶山も、澄みきった空気の中でより大きく、近く感じられます。天高く馬肥ゆる秋の日に、島根県立大田高等学校の新校舎竣工式を挙行了しましたところ、大田市長竹腰創一様、島根県議会議員和田章一郎様・生越俊一様をはじめ、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜りました。高い席からではありませんが心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

平成二十五年六月の仮設校舎の建設から具体的に動き始めた大田高校整備事業は、平成二十六年一月からの旧校舎解体、四月からの新校舎建設と進み、平成二十七年七月に新校舎竣工となりました。この間、事業に関わっていただいた県行政当局、工事関係者、地域の皆様に深く感謝申し上げます。お蔭様で大変立派な校舎が完成いたしました。

また、この整備事業に合わせて平成二十五年十一月に、岩谷産業株式会社様のご支援で、岩谷奨学会館の外装を全面的に改修させていただきました。創業者の岩谷直治様が亡くなられた後も、本校への支援を続けていただいている岩谷産業株式会社様に、厚くお礼

申し上げます。

新校舎は、屋根の石州瓦や玄関の福光石、床のフローリングの桧や教室の壁の杉といった地域が誇る建築材料が多く使われ、島根の良さを大いに感じられる施設になっています。また、エレベーターや多機能トイレを設置してバリアフリーや多機能を高めたり、自然の風を活かすための網戸やトイレの雨水利用システムの採用など、人と環境にやさしいつくりになっています。

この、島根の良さを感じ、人と環境にやさしい新校舎の下で、大田高校はしまね教育ビジョン21の基本理念である「島根を愛し 世界を志す 心豊かな人づくり」に邁進してゆきたいと思えます。

大田高校の九十四年の歴史は、県下四番目の旧制中学として大正十年にスタートした島根県立大田中学校に始まりました。更にルーツをたどっていけば、安濃郡立大田農学校に行きつき、その明治三十六年の開校からは百十二年になります。この間の二万五千人を超える卒業生は、日本国内と言わず、世界でも活躍しています。

今回、講演講師としてお招きした藤田伸也氏は平成二年の卒業生で、外交

官としてヨーロッパで活躍された経歴をお持ちです。また、新校舎の玄関を飾る一二〇号の「ベニス 雨の朝」という絵画を寄贈してくださった俵正論画伯は、昭和二十九年の卒業生で、パリに遊学して絵を学ばれ、ヨーロッパの風景画を描かれた方でした。

さらに、本校瓶陵会会長でこの式にもご臨席を賜っている中村俊郎氏は、大森町で、義肢装具製作の中村ブレイスを起こされ、世界的メーカーに育て上げられた方です。大田市にあって、三十を超える世界の国々と取引され、各国の人々に感謝されています。

この卒業生の方々のように、世界を志して羽ばたく方法は多種多様です。私はこの新校舎の竣工が、大高生一人ひとりが世界を感じ、世界を志す契機となることを期待してやみません。

最後に、大田高校を正面から眺めると、ページユの中にエンジのラインが浮かび上がっています。このエンジは石州瓦の色で石見地方を象徴する色です。大田高校は、ここ石見の地で頑張るんだという思いをエンジの色に託し、この素晴らしい新校舎のもとで、二十世紀の社会を支える人材を、全力で育ててまいります。

本日ここにお集まりの皆様は、これまで同様のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



記念講演
復興庁参事官 藤田伸也氏



生徒会長挨拶



校長式辞

新校舎竣工によせて

生徒会副会長 田 中 浩 太

大田高校新校舎完成を記念して竣工式が行われ、すばらしい式典となりました。

記念講演ということで、本校卒業生で現在、復興庁でご活躍されている藤田伸也先生にお越しいただきました。大学での勉強のことや外交官としての経験、海外の情勢を交えてお話しいただきました。新たな知識を得ることができ、よかったです。

新校舎では前日から蓄えておいた熱を利用する蓄熱暖房、貯めておいた雨水をトイレなどに使うシステムなど様々な環境への配慮がなされています。また校舎の床などには島根県産の木材が使われており非常に整った環境の中で生活しています。

今回の竣工式で新校舎のすばらしさを再認識することができました。この校舎を次世代へ受け継ぐため大切に使用していきたいです。

最後に、これからも大高生としての自覚を持ち、先輩方に見習い日々勉強していきたいと思えます。ありがとうございました。



教室前廊下・ロッカー



教室



女子トイレ



男子トイレ



エレベーター

中庭



正面玄関



玄関ホール



校舎全景



応接室



校長室



職員室

一組

担任 江田 修一
副担任 苅田 桂子

こんにちは！一年一組です。一組は男子十三人、女子十九人の計三十二人で、朝礼のあいさつ以外はとても元気のよいクラスです。担任の江田先生はやっぱり福山雅治です。(声だけは)

副担任の苅田先生は、発言が結構、ドストロートなもので、おもしろい時もあれば、心に深くグサツと・・・(笑)。

私たちのクラスのメンバーは、何事にも「全力」で取り組んでいます。勉強面はもちろん、休み時間も一人一人が全力で休んでいます。

球技大会では、いつもの教室ではちっとも感じられない団結力で、男子ソフトボール二位、女子バレーボール二位となかなか優秀な結果を残すことができて良かったです！三学期の球技大会では、優勝できるようにみんなで頑張りたいです。

昼休みは男子も女子もにぎやかに弁当を食べています。特にちよーうるさい男子数人が日々LEGE



NDをつくっています。

そんな一組もあとちょっとと思うと悲しくなりますが、このあとも何事も全力で頑張ります。

江田先生へ

たまに黒板の絵がうますぎてノートとるのに困ります。

(文責) 森山 優花

宅和 浩輔
田中 颯人

二組

担任 山中 清恵
副担任 陶山晋太郎

ハローエブリワン！私たち一年二組は良く言えばにぎやかで仲の良いクラスで、悪く言えば個性的な人が多くまとまりが悪いクラスです。

学年主任であり、担任の先生である山中先生はクラスにとってお母さんのような存在です。副担任の陶山先生はフレンドリーで私たちの相談にも乗ってくださいるとても頼もしい先生です。

私たちは休み時間はとても賑やかですが、授業中は夜のように静かになります。(寝てる人がいます!)

球技大会では、男子は力が及ばず、とても残念な結果となりましたが、女子のソフトボールでは決勝まで進むことができましたが惜しくも負けてしまい、準優勝という結果になりました。

先輩たちのおかげで一位になることができた大高祭では初めてのことでただで戸惑い、不安でしたが、精一杯努力し、先輩たちに貢献できたと思います。



勉強はあまりふるわない成績ですが、毎日コツコツと頑張っています。元気がありすぎて怒られることがあります。日々楽しく過ごしています。あと四ヶ月、笑顔を絶やさず過ごしていきましよう！

(文責) 森山 慎也

田村真知子
小島 尚記
安井菜々子

三組

担任 森脇 健二
副担任 國本由利子

こんにちは！一年三組です。三組は男子十三人、女子十八人、計三十一人のクラスです。いつもみんなと楽しく話し、共に授業を受けています。担任はともも数学の授業が分かりやすく、意外にもフットボールがうまい森脇先生。副担任はフレンドリーでオシャレな國本先生です。

私たち三組は「魅せる」クラスです☆笑。球技大会や部活など結果にこだわるのではなく、内容にこだわっています。二学期の球技大会では、一学期の球技大会よりも魅せられるように頑張りたいです。

勉強に関しては苦手意識を持っている人が多いのですが、授業が終わった後に質問するなどしてがんばっています。授業中は思いもよらぬ珍解答が続出し、生徒は爆笑、先生は啞然とした顔でびっくりにしている風景が毎回のよう飛び出しています。



そんなこんなで、三組のみんなと過ごせるのも後少しになってきました。二年生ではクラスがかわりバラバラになるので寂しいです。三組全員はYDK(やれば出来る子)なので、残りの期間も協力して勉強や部活に励みます。みんながんばるぞ！

(文責) 後藤 康一

四組

担任 山田 桂
副担任 布施 祐典

こんにちは！私達一年四組は、男子十八人、女子七人と、人数は少ないですが、個性の強いメンバーが集まった少数精鋭部隊です。男女ともとても仲が良く、元気に満ち溢れており、毎日ワイワイ楽しく過ごしています。

そんな私達を一喝してくださいさるのが、担任の山田先生です。よく「我流の怠け者になるな。」とおっしゃり、時に厳しく、いやいっつも厳しく指導していただいています。

副担任の布施先生は元サッカー選手というさわやかな先生で、広告が張り巡らされたジャージが特徴です。

一年理数科恒例の行事である益田サイエンスタウンや三瓶サイエンスセミナーでは、試行錯誤を重ねながら、全員が真剣に課題に取り組み、クラスの団結力をさらに強くすることができました。

しかし人数の少ない私達は高祭での合唱編成が大変だったり、体育祭では一人何種目も出場したりと大忙しでした。先輩方に助けをいただいたき、何とか乗り越えられ



たように思えます。でも、きつとその忙しさの中で、それぞれが声を掛け合い、今の楽しい一年四組になったのだと思います。

これからも切磋琢磨しながら、二十五人で力を合わせ、最高の思い出を創っていきましょう。これからもよろしくお願いします。

(文責) 波多野雅俊
坂井 桃香
沖野 行孝



中国・四国地区PTTA連合会に参加して

PTA副会長 森脇真理子

七月十日、第五十七回中国・四国地区PTTA連合大会（岡山大会）に、本校からは幸増PTTA会長、小笠原副会長、中村教頭先生、私の四名が参加しました。講演会は、「私の歩んだ道」見えないから見えたもの」と題して、竹内昌彦氏が戦後、小学校二年生の時に失明されてからの自分の人生を振り返ってのお話でした。いろいろな苦勞を乗り越えてのお話に、感動の涙涙の連続でした。私たちが健常者が抱えている悩みはありますが、もつと視点を變えて、元気で過ごしている今を感謝して生きることで、人生がもつと豊かなものになると感じました。岡山の有志の皆さんが竹内氏の人生を映画化されています。大田高校の生徒さんたちに観てもらえる機会があれば、いろんな力を与えてもらえるのでは、と思いました。講演会後は岡山の高校生による和太鼓、バトン、吹奏樂の発表があり、若さあふれる素晴らしい発表に元氣をもらいました。三校の研究協議にも参加させてもらい、地域の一員であることを私達保護者が、子どもたちの手本として頑張りたい、地域の一員であることを考えさせられました。連合大会に参加させていただき、とてもよい勉強、経験になりました。ありがとうございました。

全国高等学校PTTA連合会大会報告

PTA副会長 河上 幸司

八月十九日から二十一日の日程で第六十五回全国高等学校PTTA連合会大会が岩手県で開催され、幸増会長、臼井校長と私とで参加させていただきました。島根県からは約六十名の参加で全体では約一万人の参加となっていました。島根のある大会でした。大会のテーマは「新時代を担う君たちと共に」で、答えのないものに対し、答えを見つめる力を身に付けてほしい。との意味が込められていました。開会式では、文部科学大臣が、今後の教育に関する内容の挨拶をされ、基調講演は、超伝導の第一人者である芝浦工業大学学長の村上雅人氏の講演で「世の中には科学で説明されていない事が多くある。これを謙虚に受け止め諦めないことが大切である」と「昨日の夢は今日の希望となり明日の現実となる」とお言葉をいただきました。分科会のテーマは「家庭教育とPTTA」で、四名の保護者が日ごろの活動を発表されました。皆さんの内容の中で「家庭環境の役割は大きく、身近な活動を通じ、色々なことに関心を持ち、気付けていく事が大切である」とありました。

二日目の記念講演は、「龍馬伝」のろうに剣心」を監督された大友啓史氏の講演で「作品を作る上で、現場や作品への思いの熱量を伝えることが大事」「人生も同じであるが思い通りになる事は少ない、起きた現象を受け入れ、それを楽しめるかどうかで、その後の結果が変わってくる」とありました。講演の間には、岩手県内の高校生の特徴ある部活動の箏曲部、鬼剣舞部、郷土芸能部などの演奏、演舞により参加者を楽しませていただきました。今回参加させていただき、多くの勉強、貴重な経験をさせていただき、とても感謝しております。大会を運営された方々、参加された方々の熱い思いを引継いでいきたいと思えます。



ロードレースの整備活動について

PTA生活指導委員会



田中あゆみ

ロードレースの開催にあたって、先生方やPTTA会長、評議員でコースの除草、清掃作業を行いました。今年が例年の女子のコースは崩れた場所があるため変更となり、草刈りの作業が中心となりました。普段は何気なく車で通りすぎるコースも作業をしながら歩くことでも長く感じられます。ここを走るのかと思いつながら草を寄せたり運んだり。他の保護者さんとも顔を合わす機会にもなり、天気同様気持ち良く作業を進めることができました。当日は大きな事故もなく無事に走れたようで安心しました。お疲れ様でした。

ロードレース後のパン・ジュースの配布について



PTA会員交流委員会

高橋 詠

本年度のPTTA交流委員会の活動として、十月二十七日（火）に行われたロードレース終了後に生徒全員にパンとジュースをおつかれさまの気持ちを含めてメッセージカード付で配布しました。今年は交流委員会として、何をしたらよいだろうかと何回か話し合いをする中で、生徒たちが喜んでくれることを考えました。ロードレース終了後、生徒たちがパンとジュースを取りに来て、「ありがとうございます」と大きな声で、全員が言ってくれて本当にうれしく思いました。本委員会の頼もしい皆様のおかげで事前の準備や当日準備もスムーズに終わることができました。ありがとうございました。

スマホ等に関するPTTA研修について

PTA研修委員会

勝部 浩司

十一月七日に情報教育アナリストの長谷川陽子氏とDeNAカスタマーサービス部長の西雅彦氏を講師にお迎えし、スマートフォン等に関する研修会を開催しました。実際にスマホを操作しLINEによるトークや写真のアップなどを行ったり、子どもたちを取りまくインターネット事情についての講演でした。インターネットに書き込みしたことでもトラブルに巻き込まれたり、知らないうちに被害者・加害者になることがあるので、家族でインターネットの良いところと悪いところを話し合う必要があると感じました。大変有意義な研修会となりました。

理数科つくば研修・サイエンスセミナー

理数科主任 下垣 章裕

理数科では科学への興味関心と探究心を育てるために多くの研修を実施しています。中でもみんなが楽しみにしているのが校外研修です。一年生は、九月十六、十七日に一泊二日で三瓶自然館サヒメルを主会場にサイエンスセミナーを実施しました。大田市は多彩な研修ができる環境が整っています。天体望遠鏡の組立、池田ラジウム鉱泉水を使った放射線実験、ダンゴムシの研究、野鳥観測、埋没林公園見学、農研センターでの和牛ファーム体験など多くの研修をしました。二年生は、十月七、九日の三日間かけて、つくば研修に行きました。JAXA宇宙センター、JAL飛行機工場など多くの研究機関や企業を見学しました。高エネルギー加速器研ではノーベル賞の受賞と重なり、研究者の方々の熱気を感じました。夜は瓶陵会関東支部の方々と交流会があり、大変盛り上がりました。多くの生徒が将来への夢と目標を紡いでくれたと思えます。

部活動への取り組み

一年四組 和田 柝哉

僕は中学生のときからバスケットボールをしていて、高校に入ってからも続けようと考えていました。ただ中学からやっていたという理由ではなく、もう一つの理由があつてバスケット部に入ることを決めました。それは中学校のころのチームメイトが一人違う高校へ行ってしまい一緒にバスケットをすることができなくなつてしまった時、二人で決めたことです。「次からはライバルになる。」この言葉を聞いて絶対に負けないからな！とそう思いました。

そうして大高バスケット部に入りました。森田先生の指導のもと、先輩と同級生と日々練習に励んでいます。どんなにつらい走る練習でもみんなで声をかけ合つて頑張つて練習しています。部活の時とそうでないときのON・OFFがきちんとしている先輩たちとバスケットをすることができるとても楽しいです。これからも自分の目標、それとチームの目標である県ベスト8を目指して、勉強もきちんとやりながらチーム全体で切磋琢磨していききたいと思ひます。

一年一組 山田 桜子

私は高校に入る前は、吹奏楽部に入ろうか迷っていました。ですが、私は三月の定期演奏会に行き、先輩方の明るく楽しそうな表情や演奏を見て、吹奏楽部に入ろうと決めました。入つてからは楽しい事ばかりでなく、つらい事もありましたが、この部活に入つて良かったと心から思っています。今年、定期演奏会を見る側でなく作る側なので、去年の感動を越える演奏会にしたいです。頑張ります！

二年一組 島林 志帆

私たち女子バレーボール部は、ベスト8を目標に毎日練習に取り組みんでいます。

十一月に行われた選手権大会では自分たちの流れに持ち込めず、気持ちの弱さが出た試合となり、とても悔しい思いをしました。この悔しさをバネに全員が気持ちで負けないプレーができるように日々の練習を大切にしていきたいです。

また、バレーができることに感謝し次の新人戦に向けて全員で頑張ります。

二年二組 和田 卓巳

「奪回！行くぞ七度目の甲子園！」これは僕たち野球部が毎日練習前に口にする言葉です。この言葉を胸に日々努力してきました。そして新チームで挑んだ大会では接戦の末敗れてしまいました。この悔しさをバネに、あの時取れなかった一点を取るために、あの時防げなかった一点を防ぐために今は練習しています。これからも二十二人全員で協力し、七度目の甲子園で校歌を歌うために頑張ります。

進路への取り組み

一年二組 加田 優菜

私は、進路のことが理解できてない部分があつて進路についてあまり考えていませんでした。でも、大学訪問や文理選択があり、自分の進路を考えるようになりまし。私には将来の夢があります。夢を叶えるには色々な場面で今以上の努力が必要だと思います。私はまだ努力が足りてないと思うので、努力することを忘れずに、いろいろな事に一生懸命取り組みたいと思います。

一年三組 田中こなつ

私は今、自分の進路について迷っています。文理選択もどちらを選ぶかによつて大きく進む方向が変わっていくので、後悔しないような選択をしていきたいと思つています。そのためには学力の向上が必要であり、自分自身もつと努力しなければならぬと思つています。日々の勉強を大切に、少しづつでも成果を出せるように頑張つていきたいです。

一年三組 才光 諒

僕は進路について考えることはありますが、あまり実感がわきません。一年生では一番大事な文理選択があり、自分の選択はそつちで良いのか、と今悩んでいます。後悔のない選択にするためにも、今の勉強の取り組み方を見直したいと思つています。毎週出る課題を一つ一つ熟し、やつたまま終わらせずさらに復習をしていきたいです。今のままではダメだ、と危機感を持つて頑張つていきたいです。

二年三組 武間 智也

日本では、「頑張れ！」と言います。しかし、アメリカでは、「enjoy！（楽しんで！）」と言うそうです。このことを聞いて僕は、勉強は頑張るものではなく、楽しむものだということに気がきました。ちなみに、自分の担任の先生は頑張れではなく、「頑張（がんば）れ！」と言います。みなさんも勉強を楽しみ、そして顔晴つてやりましょう。たぶん良いことがありますよ！

二年四組 福岡 崇史

僕は勉強について書きます。高校に入学して間もなく二年がたとうとしています。当たり前のことですが、高校の勉強はとても難しいです。難しすぎるからこそ分かつた時の達成感がすごいです。「できるできないを決めるのは自分だ。」松岡修造の言葉の中で、一番好きな言葉です。教科書と友達になれるくらい頑張つてみます。志望校合格を目指し頑張ります。

平成27年度 校内ロードレース ランキング10

順位	学年・組	氏名	記録	
			記分	録秒
1	1年4組	松村 黎	41	30
2	1年2組	俵 広明	41	44
3	3年2組	和田 俊乗	42	00
4	2年4組	中田 健心	42	18
5	2年2組	尾田 惇	42	53
6	2年3組	稗田 啓晃	43	01
7	2年3組	戸谷 哲平	43	03
8	1年4組	田中 健翔	43	10
9	2年3組	酢谷 大洋	43	26
10	2年4組	森脇 逸斗	43	43

【男子】

順位	学年・組	氏名	記録	
			記分	録秒
1	1年2組	加田 優菜	42	38
2	2年1組	島林 志帆	43	08
3	1年1組	中村 優紀	43	39
4	2年3組	島田 洋希	44	20
5	1年2組	安井菜々子	45	05
6	3年3組	田部 律子	45	42
7	3年4組	高野 結友	47	34
8	3年3組	森山 梨花	47	53
9	1年3組	青木 涼華	47	56
10	3年3組	蘿 真穂	48	11

【女子】

学園祭を終えて

生徒会長 二年四組 白須 蓮樹
菅原道真だった。幾つも案を出し合うけれども、「これだ！」という企画がなく、「白紙」に戻し、「検討し」直しました。様々な人の協力もあり、最後には、「楽しかったよ」と喜びの声を頂きました。とても充実した時間でした。

緑組団長 三年一組 清水 幹
今年の大高祭を振り返ってみると、「唯一無二」というテーマにふさわしい大高祭になったと思います。この大高祭で培った団結力を継続し、よりよい大田高校にしていきたいと思えます。

黄組団長 三年四組 重田 祐亮
大高祭を振り返ってみると今まで見えていなかったみんなの前で仕切ることの難しさなどたくさん感じました。一、二年生は文化祭でとても頑張ってくれてとても助かりました。大高祭で培った団結力で受験も乗り越えてみせます。

青組団長 三年三組 安道 緋呂
僕達青組は三年生が二十七人というとても少ない中、一人一人が大高祭について真剣に考えました。そんな最高の仲間と最高の先輩がいてくれたおかげで最高の三日間となりました！関わったすべての人達、ありがとうございます！

赤組団長 三年二組 吉原 大裕
大高祭を振り返ってみると、とても充実した三日間だったと思います。特に最終日の体育祭では、全体が一つになり、とても盛り上がりました。みんなが楽しく笑顔で終わることができました。本当にありがとうございました。

自然科学部 二年一組 藤原 璃奈
今年の文化祭では自然科学部で、「液体窒素実験ショー」をしました。本番までに準備が十分ではなく、本番で初めてやる実験もあったり、人前で話すのに慣れていなかったりして、とても不安でした。しかし文化祭当日、手間取ったりしたところもあつたけど楽しんでいただけたので、良かったです。見に来てくださった皆さん、ありがとうございます。

部活動を終えて

吹奏楽部 三年二組 大谷かなこ
今年一年の吹奏楽部の活動を振り返ると、辛かったことや悔しかったこともたくさんありましたが、本当に大切な経験をさせてもらいました。特に、定期演奏会は一生涯忘れられない思い出です。私たちが新しいことに挑戦したり、大好きな音楽に打ち込めることができたのは、たくさんの方々の支えのおかげです。三年間本当にありがとうございました。

野球部 三年二組 根亘 拓海
僕は、この大田高校で野球がしたくてこの高校に入学しました。もちろん、楽しい事より、辛い事の方が多かったですが、三年間充実した日々を送ることができてとても幸せでした。後輩にも恵まれ、厳しくも愛のある指導をして下さった先生方、いつも応援、そして支えて下さった野球部関係者、保護者の方々には感謝しきれません。本当にありがとうございました。

全国大会を終えて

弓道部 二年一組 稗田 沙子
初めての全国大会は、雰囲気にもまれ、手や足の震えが止まりませんでした。出た結果に本当はこんなもんじゃないんだ！と悔しくて涙が出ました。私たちは二年生で、来年にもチャンスがあるけれど三年生にとってはこれが最後だったと思うと、申し訳なくて、せめてあと一本あてていければ、と何回も思いました。試合の借りを試合で返しなさいので、来年も全国へのチャンスを掴み、この悔しさを必ず晴らしたいと思えます。ご声援ありがとうございました。

文芸・報道部

二年三組 大野 和也
今回、滋賀県で行われた全国高等学校総合文化祭に出場させていただきました。その際、俳句分科会で私の作品が特選三句のうちの一句に選ばれることになりました。まさか特選に選ばれるとは思っていませんでしたので、選ばれた瞬間は驚いてしまいました。選ばれてからも実感がなかなかわきまきませんでした。

中国大会に向けて

囲碁・将棋 二年三組 山本 和輝
この度、広島で行われる中国大会に出場することになりました。自分にとって初めての県外の選手との対局になるので、適度な緊張感を味わいながら一手一手をじっくり考え、慎重に指していきたいと思えます。大会まで残りわずかな時間しかありませんが、結果を出すために出来る限りの準備をし、大会に臨めるよう頑張ります。

こんにちは！私はクリスです。イギリスのロンドンから来ました。私は21歳、私の趣味はスポーツをすることと、料理をすることです。私は4か月日本に住んでいます。それから日本と大田市が大好きです。私は日本語を勉強しています。でも難しいです。



Chris Cumine

Chris introduction

Hello! My name is Chris and I am from London in England. I am 21 years old and my hobbies are playing sports and cooking. I have been in Japan for 4 months and now I love Japan and Oda! I am studying Japanese but it is very difficult!



弓道全国大会

学園 スナップ



島根大学見学



ロードレース



ロードレース後のパブ・ジュースの配布



防災訓練



新1号棟



校内ダンス発表会

編集後記

原稿を快くいただいた方々、先生、総務委員の協力のおかげで、無事「泰山木104号」を発行することができました。今回は新校舎・竣工関連について特集号と学校行事やPTA活動などの情報を掲載しました。一人でも多くのPTA会員に読んで頂ければ幸いです。(家迫和巳)

総務委員会の所属となり、「泰山木」の編集に携わることになりました。本号は、新校舎の竣工を機に頁を増量し、大田高校PTAの記念すべき広報誌になったと思います。新校舎で学ぶ生徒たちの夢が、きつと叶うことを信じて応援し続けます。(大野康成)

